

研究分野	防疫	部名	研究開発部
研究課題名	養殖衛生管理体制整備事業		
予算区分	内水面研究所費（交付金 1/2）		
試験研究実施年度・研究期間	H19～H21		
担当	菊谷 尚久・榊 昌文・沢目 司・松田 忍		
協力・分担関係	なし		

〈目的〉

県内の養殖生産者等に対し、養殖衛生管理及び疾病対策に関する技術・知識の普及、指導等を行い、健全で安全な養殖魚の生産を図る。

〈結果の概要〉

1 総合推進対策

養殖衛生対策を具体的に推進する上で必要な事項について検討する全国養殖衛生管理推進会議(表 1)、更に、隣接する複数の道県等で構成される地域合同検討会(表 2)に出席した。また、県内の内水面養殖業者等を対象として魚類防疫会議及び魚類防疫検討会(表 3)を開催した。

表 1 全国養殖衛生管理推進会議

開催時期	開催場所	構成員(参加者)	議 題
10月30日	東京都	都道府県、農林水産省消費安全局、東北農政局、関東農政局、水産庁、内閣府沖縄総合事務局、(独)水産総合研究センター養殖研究所、(社)日本水産資源保護協会 (96名)	1 OIE 総会の報告について 2 コイヘルペスウイルス (KHV) 病への対応について 3 コイ春ウイルス血症 (SVC) への対応について 4 特定疾病等対策ガイドラインの改正について 5 水産防疫対策について アユ疾病対策、魚病被害発生状況、水産資源保護法に基づく輸入許可実績、水産用医薬品の使用に当たる留意事項 6 平成 21 年度予算要求について 7 平成 20 年度養殖衛生対策関連事業について
3月13日	東京都	都道府県、農林水産省消費安全局、水産庁、内閣府沖縄総合事務局、(独)水産総合研究センター、(独)水産総合研究センター養殖研究所、広島大学、(社)日本水産資源保護協会 (108名)	1 コイヘルペスウイルス (KHV) 病への対応について 2 コイ春ウイルス血症 (SVC) への対応について 3 特定疾病等対策ガイドラインの改正について 4 水産防疫対策について 5 平成 21 年度予算について 6 平成 20 年度養殖衛生対策関連事業について 7 話題提供 「海産魚のウイルス性神経壊死症のワクチン開発」

表 2 東北・北海道内水面魚類防疫地域合同検討会

開催時期	開催場所	構成員(参加者)	議 題
11月6日 ～7日	新潟県 長岡市	北海道・東北 5 県、新潟県、水産庁、(独)水産総合研究センター養殖研究所 (17名)	1 各道県における魚病発生状況について 2 魚病研究及び症例報告について 3 ブロック内における魚病問題について

2 養殖衛生管理指導

水産用医薬品等の適正使用を図るため、使用実態調査^(※1)及び指導^(※2)を行った。また、養殖衛生管理技術等の向上を図るため、研修会(表 4)へ参加し、講習会(表 5)を開催した。

3 養殖場の調査・監視

水産用医薬品等の養殖資機材の使用状況調査^(※1)、薬剤感受性試験(魚種、薬品)を行った。

※1 調査：現地調査及びアンケート調査

※2 指導：現地指導及び会議(防疫会議、防疫検討会、研修会)において指導

表3 県内魚類防疫会議・県内魚類防疫検討会

開催時期	開催場所	構成員(参加者)	議 題
8月26日	十和田市	水産振興課、増養殖研究所、水産事務所、水産改良普及所、栽培漁業振興協会、県営浅虫水族館、県養鱒協会、内水面研究所 (17名)	1 平成19年度養殖水産動物保健対策推進事業の結果について 2 平成20年度養殖水産動物保健対策推進事業の計画について 3 平成19年度魚病発生状況について 4 魚病関係の情報提供 1)ニジマス・在来マス類等の疾病実態調査(全国) 2)平成19年度魚病発生の概要と特徴(東北・北海道) 3)アユの新疾病「エドワルジエラ・イクターリ」について 5 各機関における魚病に関する最近の話題
12月4日	十和田市	内水面養殖場、サケ・マスふ化場(漁協)、市町村、水産事務所、内水面研究所 (32名)	1 養殖水産動物保健対策推進事業について 2 魚病発生状況について 3 新疾病情報 3-1 コイヘルペスウイルス病(KHV)に関する情報 3-2 コイ春ウイルス血症(SVC)に関する情報 3-3 アユ新疾病(エドワルジエラ・イクターリ)に関する情報 4 近県における魚病の発生状況について 5 その他(医薬品の不適切使用、パイセス用法・用量変更など)

表4 養殖衛生管理技術者等育成研修

開催時期	開催場所	内 容
9月9日～10日	三重県伊勢市 (養殖研究所魚病診断研修センター)	特別コース 「コイ春ウイルス血症(SVC)の診断手法」
11月24日～12月5日	東京都 (日本水産資源保護協会)	本科3年次コース 1 魚病に関する講義、特論、演習 2 魚類防疫士技術認定試験(受験)

表5 養殖衛生管理研修会

開催時期	開催場所	参加者	内 容
3月13日	十和田市	内水面養殖場、サケ・マスふ化場(漁協)、市町村、水産事務所、内水面漁場管理委員会、内水面研究所 (34名)	1 講演「ニジマスを使った学校給食への取り組み」 講師：荒川区ひぐらし小学校主査栄養士 2 話題提供「青森県内水面漁業の役割」 3 養殖衛生に関する情報提供について

4 疾病対策(平成20年1月から12月末までの集計)

(1) 疾病監視対策及び発生対策

養殖場等で現地指導(4月2日～10月7日：20箇所、23回)を行ったほか、検査依頼のあった病魚の診断(20件)を行った。

(2) 特定疾病対策及びアユ冷水病対策

天然水域(河川)4箇所から6回、個人池(観賞用)1箇所から1回、それぞれ採取した検体をPCR法により検査したが、コイヘルペスウイルス(KHV)については全て陰性であった。

また、県内1河川で採取した検体計60尾を培養法・PCR法により検査したが、冷水病及びエドワルジエラ・イクターリ感染症の原因菌は検出されなかった。